

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立森本小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施) (％)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	17	25	40	17	0
問2	英語科の勉強は大切だ。	54	34	9	2	0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	30	46	21	3	0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	14	37	31	18	0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	22	28	34	16	0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	79	14	3	3	0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	68	25	5	2	0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	39	43	16	2	0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	29	38	23	10	0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	68	20	11	1	0
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	66	21	9	2	1
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	65	20	12	2	1

②指導改善の具体策

【英語科】 問2「英語の勉強は大切だ」の肯定的評価が高い。英語学習の必要性を感じている子が多いからこそ、その意欲を学習の理解へとつなげることができるように工夫していきたい。
【デジタル科】 デジタル科が導入され、手探りの状態で1年間学習を行った。令和8年度は、学習の中でICTを使う必要感をさらに高めることで、児童がより意欲をもって学習に取り組めるようにしたい。

③学校関係者評価

【英語科】 問2によると児童が英語学習の意義を理解しており、またアルファベットの読み書きなど基礎的なことが定着している点は良い指導の結果と言えます。問4、5のようにアウトプットに不安を持つ児童が多いので、間違っても安心して発信できるような心理的ハードルを下げる工夫を学習環境に取り入れるとよい。
【デジタル科】 児童がク롬ブック等のICT機器を日常的な学習ツールとして定着させつつあるようです。使うことの慣れから、今後は活用して深めて行く必要があると感じます。ICT機器を使った学習が効率化だけを求めるのではなく「深く考えること」、「広く新しい発見をすること」に繋がる指導を行うとよい。